

環境経済政策研究公開シンポジウム

脱炭素社会に向けたグリーン税制改革への期待と課題

本シンポジウムの趣旨

地球環境戦略研究機関(IGES)上席研究員

小嶋 公史

2016年9月29日、東京国際フォーラム ホールD7



シンポジウムの背景

- 国際社会、我が国ともに脱炭素化の方針確定
 - ❖ 世界：パリ協定で、世界全体で平均気温上昇を2°Cを大幅に下回る水準達成、今世紀後半までに脱炭素化を目指すことを明記。
 - ❖ 我が国：本年5月の地球温暖化対策計画において2050年GHG80%削減の長期目標を明記。
- 化石燃料依存社会から脱炭素社会への移行には、大幅な社会変革が不可欠。炭素税などのカーボン・プライシングへの期待が高まっている。

高まる炭素税・カーボンプライシングへの期待

世界銀行のカーボンプライシングイニシアティブ

世界の政界・財界のリーダーは、カーボンプライシングを支持し、安全な環境と経済活力を基にした地球の繁栄をもたらすべきである(世界の72カ国,約1000の企業が支持)。
(2014年9月ジムヨンキム世界銀行総裁)



2016年5月 G7富山環境大臣コミュニケ

カーボンプライシングは、二酸化炭素の費用効率的な削減と、低炭素投資の促進を通じて長期排出削減をもたらす手段としてより広く普及すべきである。



ノーベル経済学受賞者 スティグリッツ

炭素税は企業など経済主体に高価格の炭素に対応するために投資を促進させ、経済活力をもたらす税制である。



日本の炭素税(地球温暖化対策税)の現状と問題意識

- 2050年80%削減を可能にするためには、二酸化炭素1トン当たり1万円～数万円以上の高税率の炭素税が有効と考えられる。
 - 民生部門や運輸部門を含む全ての主体に働きかけることができる
 - 大幅排出削減を達成するうえで経済合理的
 - 価格シグナル効果に加え、財源効果・アナウンスメント効果が期待できる



しかし、2012年に導入された地球温暖化対策税は、税率が低く価格シグナル効果・アナウンスメント効果は期待できない設計となっている。

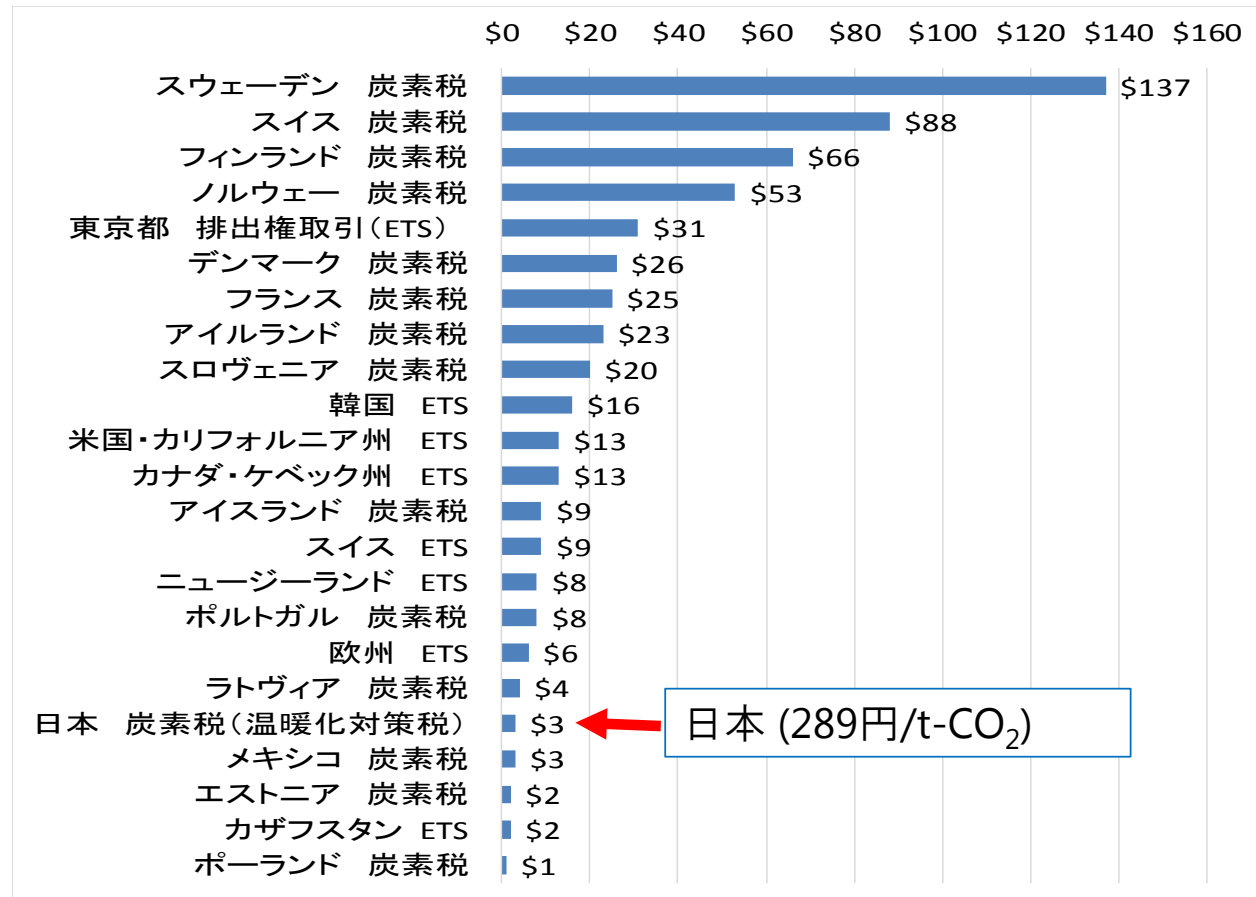
炭素税・カーボンプライシングへの反対論

日本が80%削減するのは合理的ではない。

高い炭素価格は日本経済に過度の負担をもたらす。

自主的取組みが最も経済効率性が高い。

導入済の炭素価格(USD/t-CO₂)



Source: World Bank (2015) Carbon Pricing Watch (筆者加工)

炭素税・グリーン税制改革研究の背景

持続可能な低炭素社会実現のための政策手段導入の必要性

- 2030年温室効果ガス削減の約束草案（NDC）目標達成と2050年までに画期的な削減のための新たな政策手段導入の必要性増大

炭素税を中心とした明示的なカーボンプライシングは世界の流れ

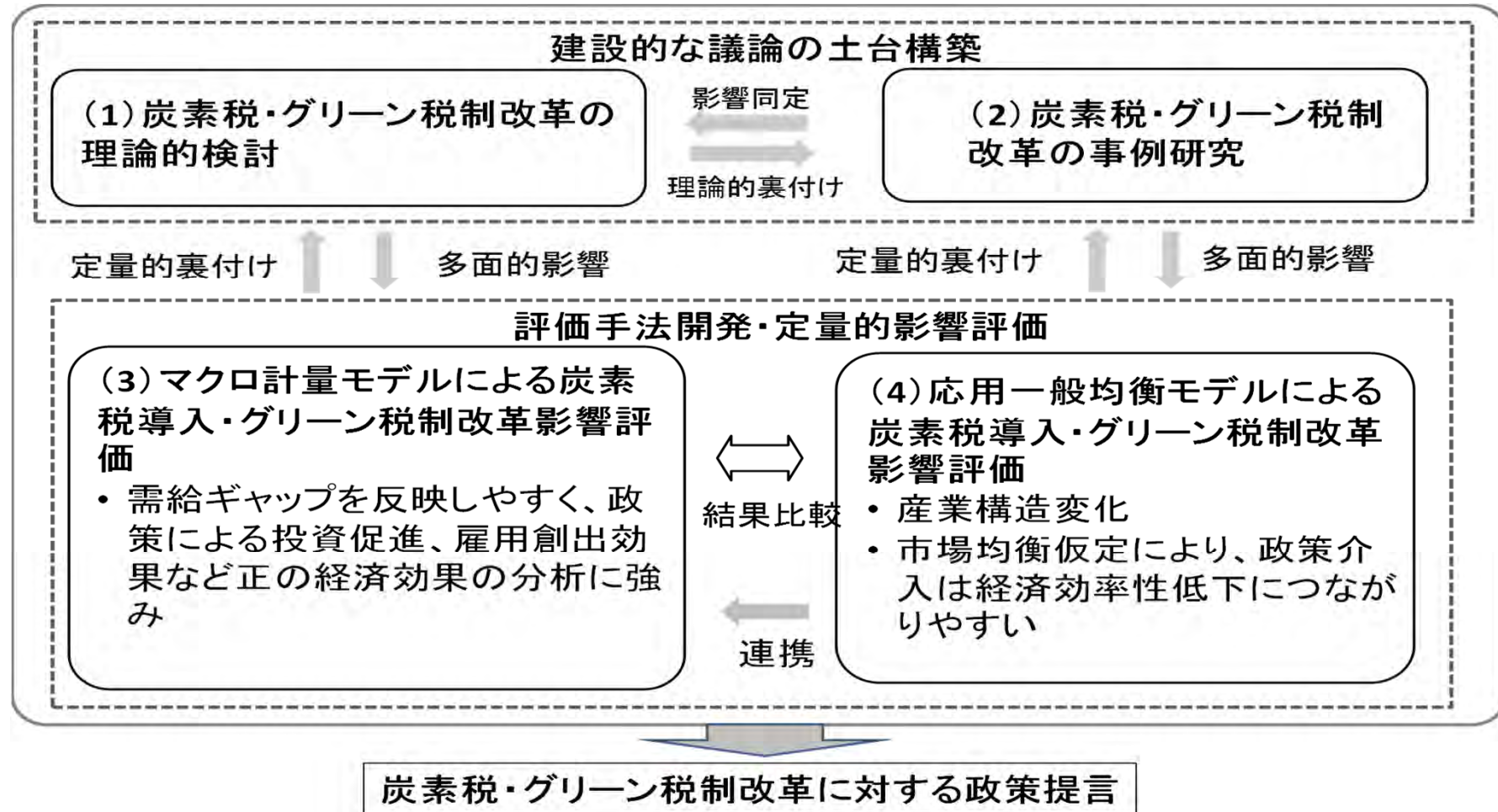
- カーボンプライシングが遅れる場合には、低炭素技術革新の遅延などビジネスリスク増大⇒世界銀行のカーボンプライシングイニシアティブ(2014.9)
- 化石燃料関連座礁資産化および世界の脱炭素化に早期対応

実践的・炭素税グリーン税制改革案の制度設計の必要性

- 社会的合意形成が容易な**実践的グリーン税制改革**パッケージのデザイン
- 税収中立の原則**および**資源配分の効率化**の観点から炭素税の税収を消費税, 所得税, 法人税, および企業の雇用関連社会保障費の減税財源

* 環境省環境経済の政策研究「2050年までの温室効果ガス大幅削減に向けた経済的措置に関する調査・検討」

研究の概要



本シンポジウムのねらい

- カーボン・プライシングの意義について発信するとともに、炭素税導入/引上げと法人税など他税の減税を組み合わせたグリーン税制改革の有効性を示す。
- グリーン税制改革への懸念に対し、昨年度より実施している炭素税に関する環境省環境経済政策研究の一部を報告し、議論の材料とする。
 - ❖ 北欧などの導入事例
 - ❖ 2030年までのグリーン税制改革シナリオに関するモデル分析による影響評価
- より幅広い意味での持続可能な社会構築の一例として、脱炭素社会の実現に向けた社会変革について、その必要性やビジョンについて議論を行う。

本シンポジウムの構成

【第1部：基調講演】

カーボン・プライシングの意義とグリーン税制改革への期待：諸富徹

【第2部：成果発表】

発表1：グリーン税制改革をめぐる世界の動向：浅川賢司

発表2：パリ協定実現に向けたグリーン税制改革シナリオ：E3MEモデルによる分析：
李秀澈

グリーン税制改革への懸念に対する議論の材料

15:25—15:40 休憩

発表3：グリーン税制改革と脱炭素社会の実現：AIM/CGEモデルによる分析：増井利彦

発表4：グリーン税制改革の実現に向けて：社会変革への挑戦：小嶋公史

脱炭素社会の実現に向けた社会変革の必要性や
ビジョンについて議論

16:30-16:55 ディスカッション